

製品名: SQSTM1/p62 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe03796**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 48 kDa; Observed MW: 62 kDa

抗原情報

遺伝子名	SQSTM1
別名	p60; p62; A170; DMRV; OSIL; PDB3; ZIP3; p62B; NADGP; FTDALS3
遺伝子 ID	8878
SwissProt ID	Q13501
免疫原	ヒト SQSTM1/p62 の組み換えタンパク質

背景

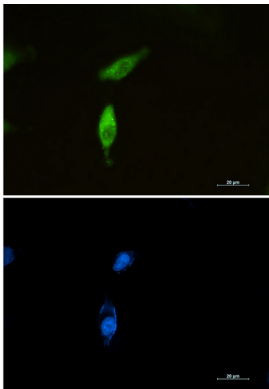
オートファジー受容体は、分解対象となる貨物と MAP1 LC3 ファミリーのオートファジー修飾因子の両方と直接相互作用しま

す。ALIS (アグリソーム様誘導構造) と呼ばれるポリユビキチン含有小体の形成とオートファジー分解の両方に必要であり、ALIS をオートファジー機構に連結します。ミッドボディリングの分解に関与しています。TNF- α 、神経成長因子 (NGF)、およびインターロイキン-1 による NFKB1 の活性化を制御する可能性があります。

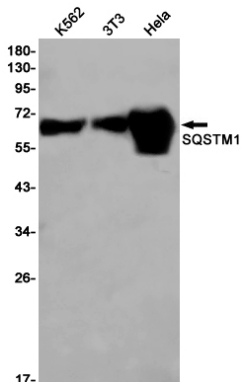
研究分野

シグナル伝達

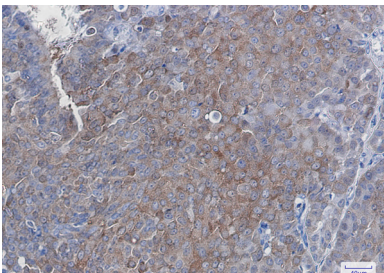
画像データ



SQSTM1/p62 抗体および DAPI (青) を使用した U87-MG における SQSTM1/p62 (緑) の免疫細胞化学分析。



SQSTM1 抗体を使用した K562、3T3、Hela 溶解物中の SQSTM1 のウエスタン プロット分析。



SQSTM1 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学分析。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。